2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社ユニリタ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3800	URL	https://www.unirita.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役　社長執行役員	（氏名）	北野　裕行
問合せ先責任者	（役職名） 取締役　上席執行役員 コーポレート本部長	（氏名）	伊藤　正人　　（TEL）03－5463－6381
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年12月７日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	6,459	8.3	448	△2.2	607	△0.3	658	84.3
2026年３月期中間期	5,962	3.7	459	24.4	609	20.2	357	23.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　938百万円（ 111.7%）　2026年３月期中間期　443百万円（ 74.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	88.08	―
2026年３月期中間期	47.04	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	15,323	12,019	78.4	1,692.82
2026年３月期	16,140	12,380	76.7	1,626.83

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　12,019百万円　　2026年３月期　12,380百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	36.00	―	36.00	72.00
2027年３月期	―	37.00			
2027年３月期(予想)			―	38.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,250	7.4	1,050	9.1	1,240	9.2	1,120	45.5	146.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	8,000,000株	2026年３月期	8,000,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	899,652株	2026年３月期	389,904株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	7,474,670株	2026年３月期中間期	7,595,142株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（中間連結損益計算書） …… 6
（中間連結包括利益計算書） …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10
（重要な後発事象の注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期連結累計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間の業績は、売上高64億59百万円(前中間連結会計期間比8.3%増)、営業利益４億48百万円(同2.2%減)、経常利益６億７百万円(同0.3%減)、2026年７月１日付で実施した完全子会社の株式会社ユニ・トランドの吸収合併に伴う税効果の影響等により親会社株主に帰属する中間純利益６億58百万円(同84.3%増)となりました。

セグメント別売上高、営業利益および営業利益率

（金額単位：百万円）

		2026年３月期 中間会計期間	2027年３月期 中間会計期間	前年同期比	
				増減	増減率
プロダクトサービス	売上高	2,270	2,253	△16	△0.7%
	営業利益	669	533	△136	△20.3%
	営業利益率	29.5%	23.7%	△5.8pt	－
クラウドサービス	売上高	1,834	1,984	150	8.2%
	営業利益	△235	△120	114	－
	営業利益率	－	－	－	－
プロフェッショナルサービス	売上高	1,858	2,221	362	19.5%
	営業利益	171	245	74	43.6%
	営業利益率	9.2%	11.1%	1.9pt	－
連結	売上高	5,962	6,459	496	8.3%
	営業利益	459	448	△10	△2.2%
	営業利益率	7.7%	7.0%	△0.7pt	－

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

プロダクトサービス事業は、前年同期に一時的に需要が集中したメインフレーム向けや自動化製品のライセンス販売の反動減により、売上高22億53百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益５億33百万円（前年同期比20.3%減）となりました。また、まるっと帳票クラウドサービスの仕入原価増大や、役務系案件の受注増を見越した増員による人件費の増大等により、減収幅以上の減益となりました。

クラウドサービス事業は、売上高19億84百万円（前年同期比8.2%増）、営業損失１億20百万円（前年同期比１億14百万円の損益改善）となりました。当事業に属する主な製品・サービスの経過ですが、サービスマネジメントの中核製品である「LMIS」については、利用範囲の拡大による既存顧客からの増注や他社製品からの乗り換え需要等により売上が伸長しました。また、データマネジメントの中核製品である「Waha! Transformer」については、データ資産をAI等で活用するためのデータ連携需要の高まりから引き合いが増加し、売上が伸長しました。これらにより増収に連動して損失が縮小しました。

プロフェッショナルサービス事業は高付加価値な複合型案件の増加等によりシステムインテグレーション分野が大きく伸長し、売上高22億21百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益２億45百万円（前年同期比43.6%増）の増収増益となりました。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末(以下、当中間期末)における総資産は、前連結会計年度末(以下、前期末)と比較して８億17百万円減少し、153億23百万円となりました。これは主に投資有価証券が３億98百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産が１億41百万円増加した一方で、現金及び預金が13億63百万円減少したことによるものです。

（負債）

負債は、前期末と比較して４億56百万円減少し、33億３百万円となりました。これは主に、前受収益が１億円増加した一方で、流動負債その他が２億70百万円、繰延税金負債が１億52百万円、未払法人税等が１億24百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前期末と比較して３億60百万円減少し、120億19百万円となりました。これは主に、利益剰余金が３億84百万円及びその他有価証券評価差額金が２億72百万円増加したことに加え、自己株式の処分と取得により自己株式が10億34百万円増加（純額）したことによるものであります。利益剰余金については、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により６億58百万円増加し、配当金の支払いにより２億73百万円減少しています。

この結果、当中間期末における自己資本比率は78.4%(前期末は76.7%)となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月13日の「2026年３月期　決算短信」にて公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

（当社における不正アクセス事案の業績への影響について）

2026年10月９日付「不正アクセスによる個人情報漏えいに関するお詫びとお知らせ」および本日公表の「同（続報）」に記載のとおり、当社管理下のSaaS型文書管理システムに対する第三者の不正アクセスにより、顧客企業の機密情報や社内外の個人情報が外部に漏えいしました。お客様をはじめ関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

本件は当中間期末の直前に発生した事象であり、当中間期の業績への影響はありません。本件による当社グループの業績への影響につきましては現在精査中であり、2027年３月期の連結業績予想には織り込んでおりません。今後、業績予想の修正その他開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,002,934	8,639,273
受取手形、売掛金及び契約資産	1,532,804	1,674,705
棚卸資産	51,393	60,404
その他	369,083	414,852
貸倒引当金	△711	△1,224
流動資産合計	11,955,504	10,788,012
固定資産		
有形固定資産	66,556	61,789
無形固定資産		
ソフトウエア	573,465	571,264
のれん	168,696	80,310
その他	4,299	4,299
無形固定資産合計	746,461	655,873
投資その他の資産		
投資有価証券	3,083,337	3,481,959
繰延税金資産	79,885	125,944
差入保証金	171,828	170,116
その他	36,628	39,394
投資その他の資産合計	3,371,680	3,817,414
固定資産合計	4,184,697	4,535,077
資産合計	16,140,202	15,323,089

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	487,414	506,914
未払法人税等	343,391	218,753
前受収益	1,800,758	1,901,311
賞与引当金	35,802	20,578
受注損失引当金	14,034	－
その他	746,841	476,171
流動負債合計	3,428,242	3,123,728
固定負債		
長期未払金	77,581	74,560
繰延税金負債	153,059	824
退職給付に係る負債	100,984	104,335
固定負債合計	331,624	179,720
負債合計	3,759,867	3,303,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,330,000	1,330,000
資本剰余金	1,607,727	1,616,799
利益剰余金	9,389,364	9,773,793
自己株式	△593,246	△1,627,951
株主資本合計	11,733,845	11,092,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	610,620	883,496
為替換算調整勘定	35,868	43,501
その他の包括利益累計額合計	646,489	926,998
純資産合計	12,380,335	12,019,639
負債純資産合計	16,140,202	15,323,089

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,962,861	6,459,407
売上原価	2,593,775	3,002,312
売上総利益	3,369,085	3,457,095
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,215,841	1,247,043
貸倒引当金繰入額	－	512
賞与引当金繰入額	37,824	10,808
退職給付費用	21,055	23,201
研究開発費	199,681	250,349
のれん償却額	37,972	37,972
その他	1,397,704	1,438,212
販売費及び一般管理費合計	2,910,080	3,008,100
営業利益	459,005	448,995
営業外収益		
受取利息	9,553	21,410
受取配当金	129,839	137,462
保険配当金	3,089	2,281
持分法による投資利益	3,975	1,273
その他	6,603	3,311
営業外収益合計	153,060	165,740
営業外費用		
為替差損	2,229	1,260
支払手数料	－	5,340
コミットメントフィー	499	499
営業外費用合計	2,729	7,101
経常利益	609,336	607,633
特別損失		
固定資産除却損	－	3,674
減損損失	20,601	50,412
特別損失合計	20,601	54,087
税金等調整前中間純利益	588,735	553,546
法人税等	231,423	△104,845
中間純利益	357,312	658,391
親会社株主に帰属する中間純利益	357,312	658,391

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	357,312	658,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,651	272,876
為替換算調整勘定	△6,518	7,632
その他の包括利益合計	86,132	280,509
中間包括利益	443,444	938,901
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	443,444	938,901
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	588,735	553,546
減価償却費	118,411	112,384
減損損失	20,601	50,412
のれん償却額	37,972	37,972
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	512
賞与引当金の増減額（△は減少）	19,990	△15,223
受注損失引当金の増減額（△は減少）	－	△14,034
受取利息及び受取配当金	△139,392	△158,872
持分法による投資損益（△は益）	△3,975	△1,273
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	7,627	△141,749
前受収益の増減額（△は減少）	176,337	99,330
未払金の増減額（△は減少）	△92,704	△91,251
未払費用の増減額（△は減少）	△93,037	△128,816
その他	23,429	△19,308
小計	663,995	283,628
利息及び配当金の受取額	140,473	155,885
法人税等の支払額	△124,307	△343,188
法人税等の還付額	53,158	878
営業活動によるキャッシュ・フロー	733,320	97,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,413,800	△913,800
定期預金の払戻による収入	413,800	1,413,800
有形固定資産の取得による支出	△2,187	△5,489
無形固定資産の取得による支出	△176,258	△115,022
その他	1,888	894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,176,558	380,382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	－	△1,073,454
配当金の支払額	△265,732	△273,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,732	△1,347,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,676	6,057
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△713,647	△863,660
現金及び現金同等物の期首残高	8,801,930	8,124,134
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,088,282	7,260,473

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年７月７日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（社外取締役を除きます。）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は33,409千円（21,652株）減少いたしました。

当社は、2026年８月12日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、普通株式531,400株を取得しました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が1,068,114千円増加しております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	プロダクトサービス	クラウドサービス	プロフェッショナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	2,270,099	1,834,196	1,858,565	5,962,861	－	5,962,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,769	93,304	332,573	437,647	△437,647	－
計	2,281,868	1,927,501	2,191,139	6,400,509	△437,647	5,962,861
セグメント利益又は損失(△)	669,420	△235,231	171,336	605,525	△146,520	459,005

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

２．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

報告セグメントに帰属しない全社資産において、システム開発計画の変更により今後の利用が見込めなくなったソフトウェアについて20,601千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	プロダクトサービス	クラウドサービス	プロフェッショナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	2,253,585	1,984,530	2,221,292	6,459,407	－	6,459,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,719	122,613	285,605	419,938	△419,938	－
計	2,265,304	2,107,144	2,506,898	6,879,346	△419,938	6,459,407
セグメント利益又は損失(△)	533,386	△120,421	245,975	658,939	△209,944	448,995

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

２．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「クラウドサービス」セグメントにおいて、一部の連結子会社の取得時に認識したのれんについて、買収当初想定していた収益を見込めなくなったため、のれんの減損損失を50,412千円計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

「クラウドサービス」セグメントにおいて、（固定資産に係る重要な減損損失）に記載の通り、のれんの減損損失を計上しており、のれんの金額に重要な変動が生じております。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。